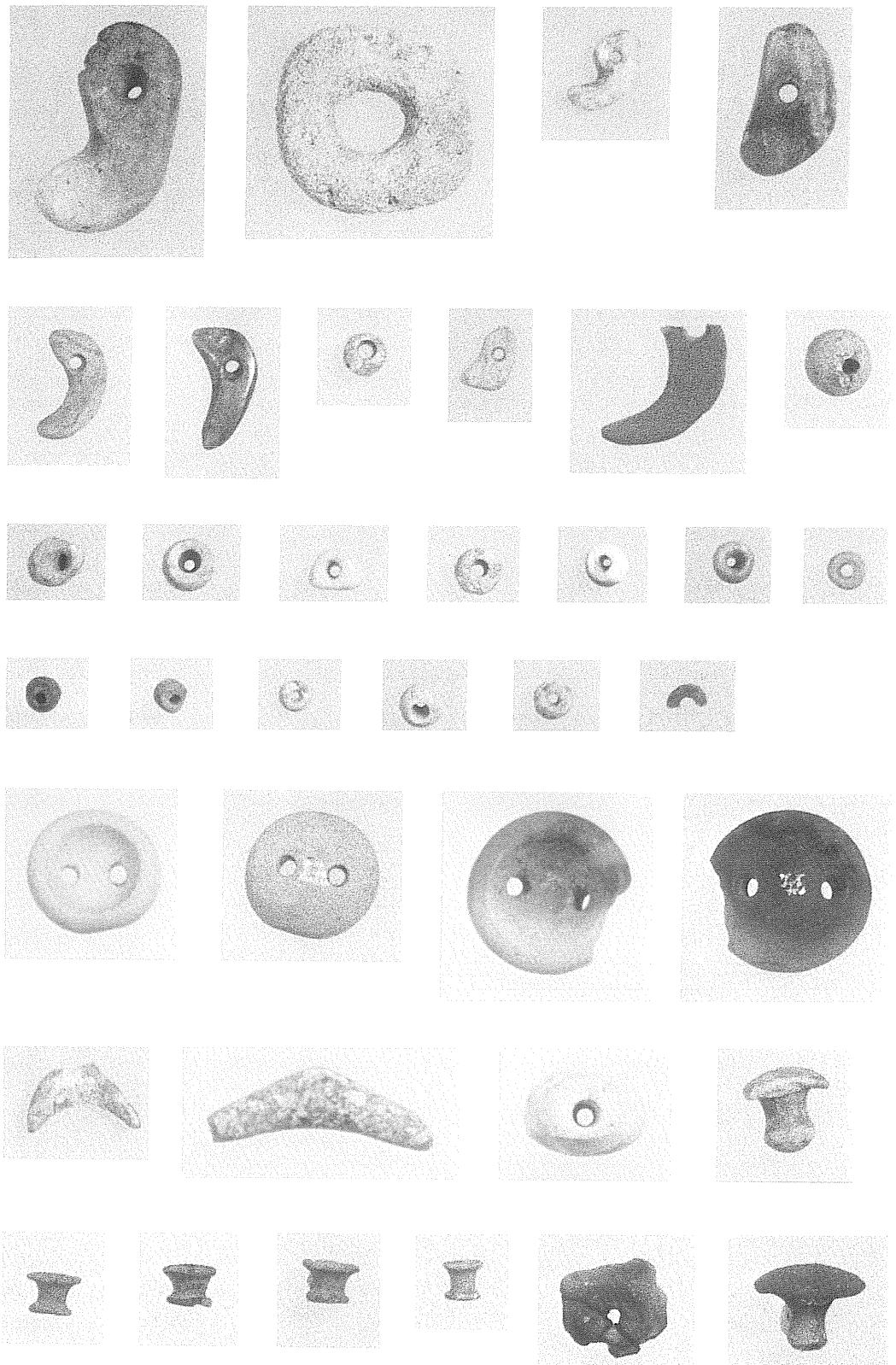
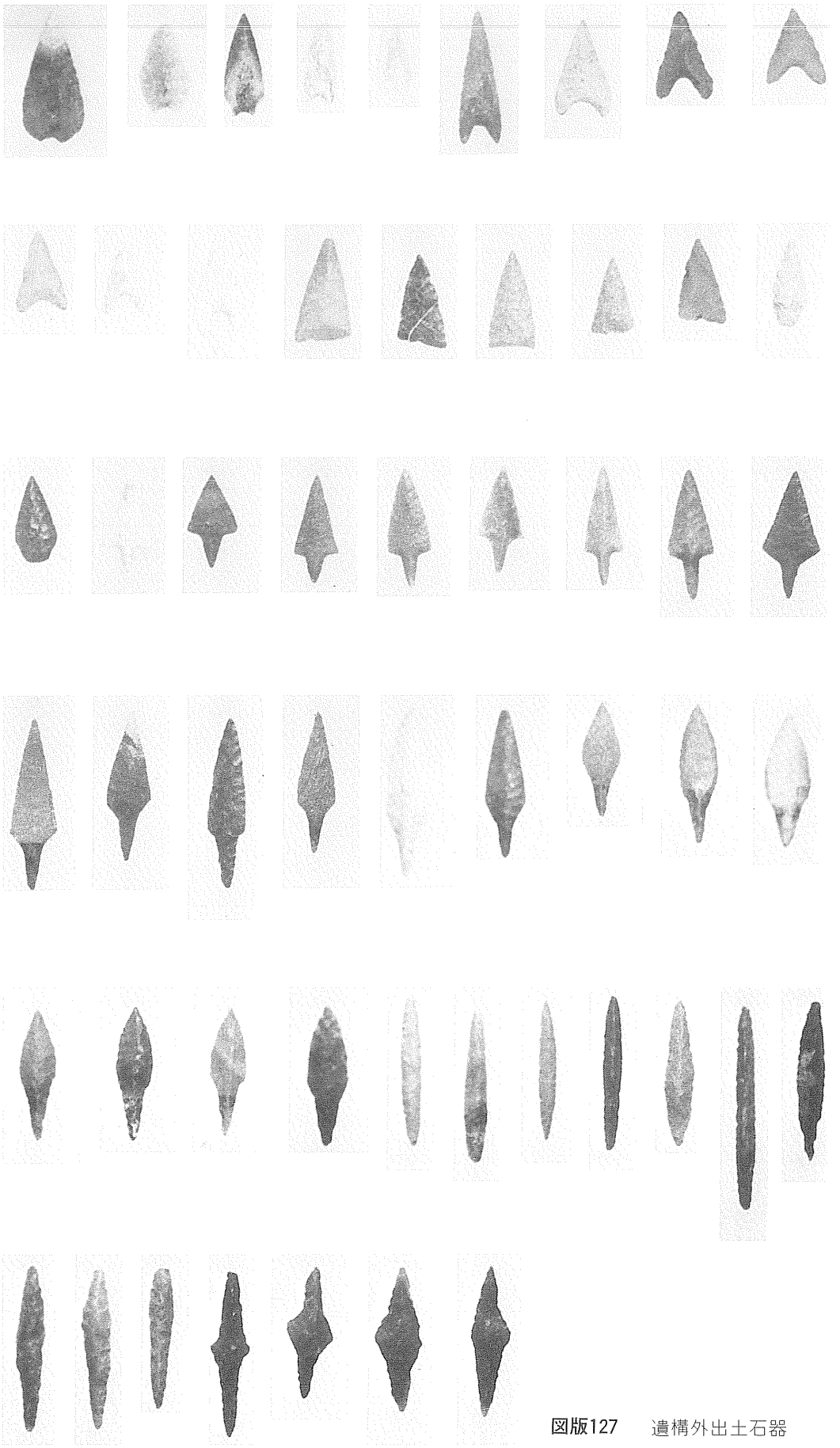
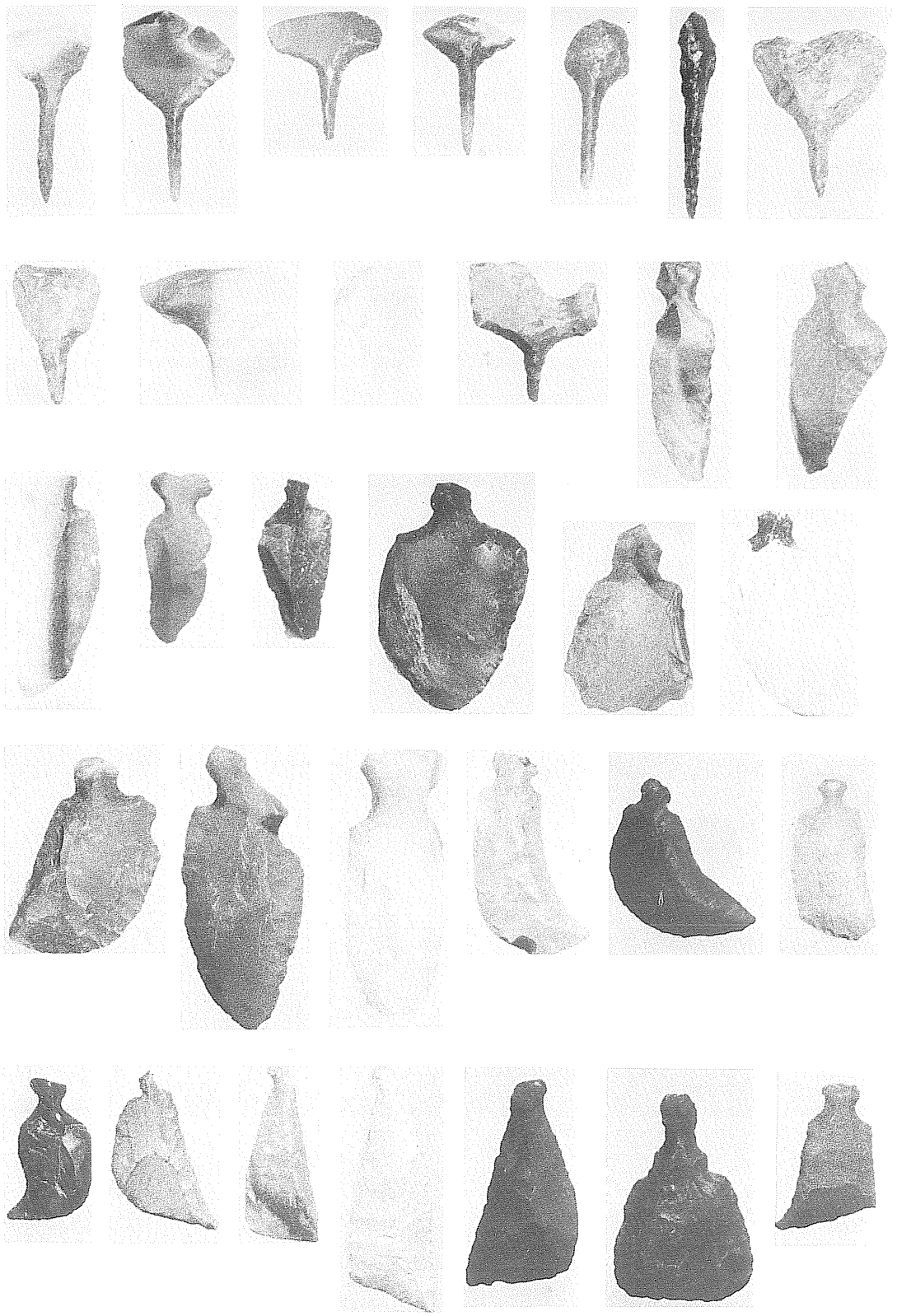


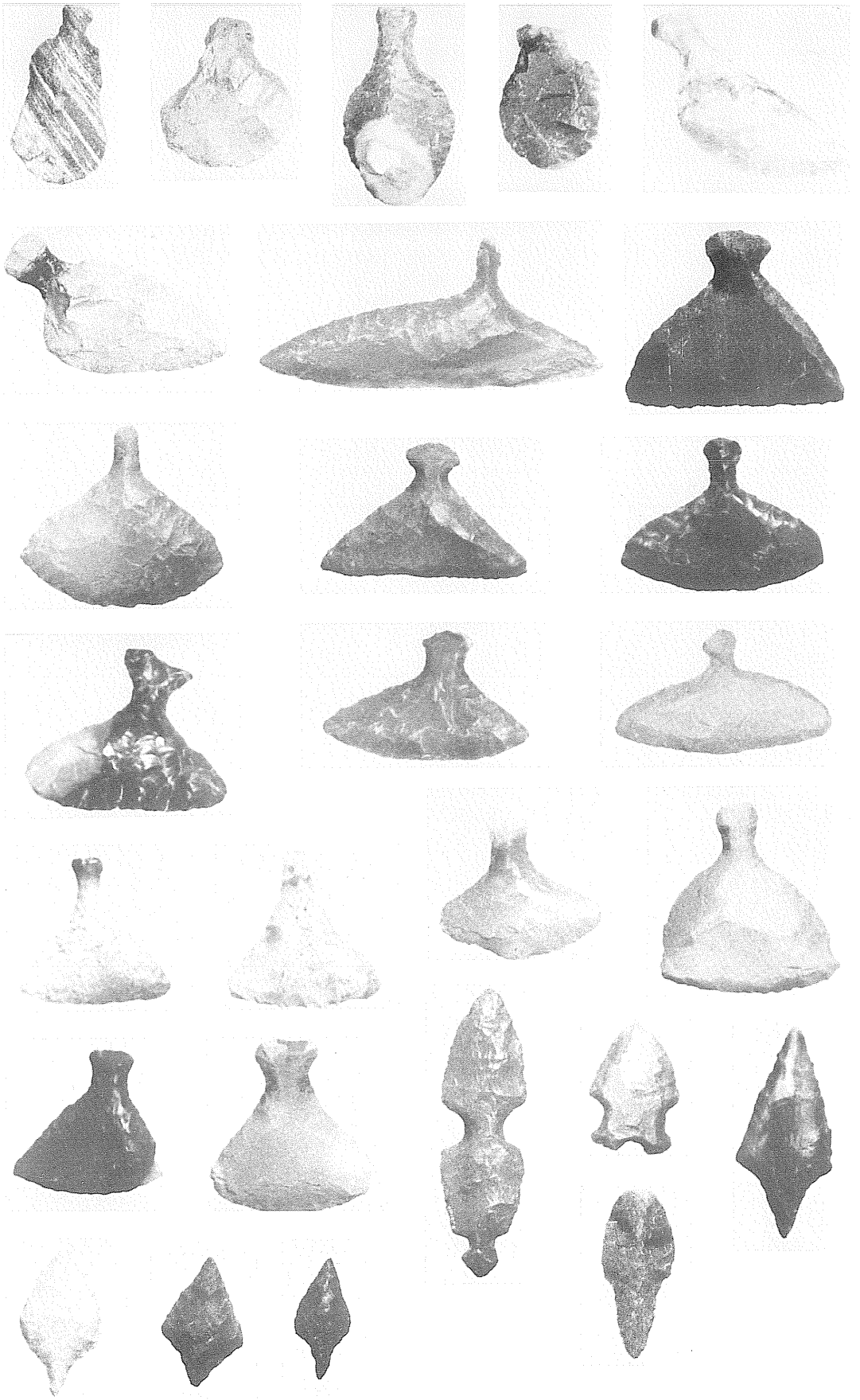
図版126　遺構外出土土製品・石製品



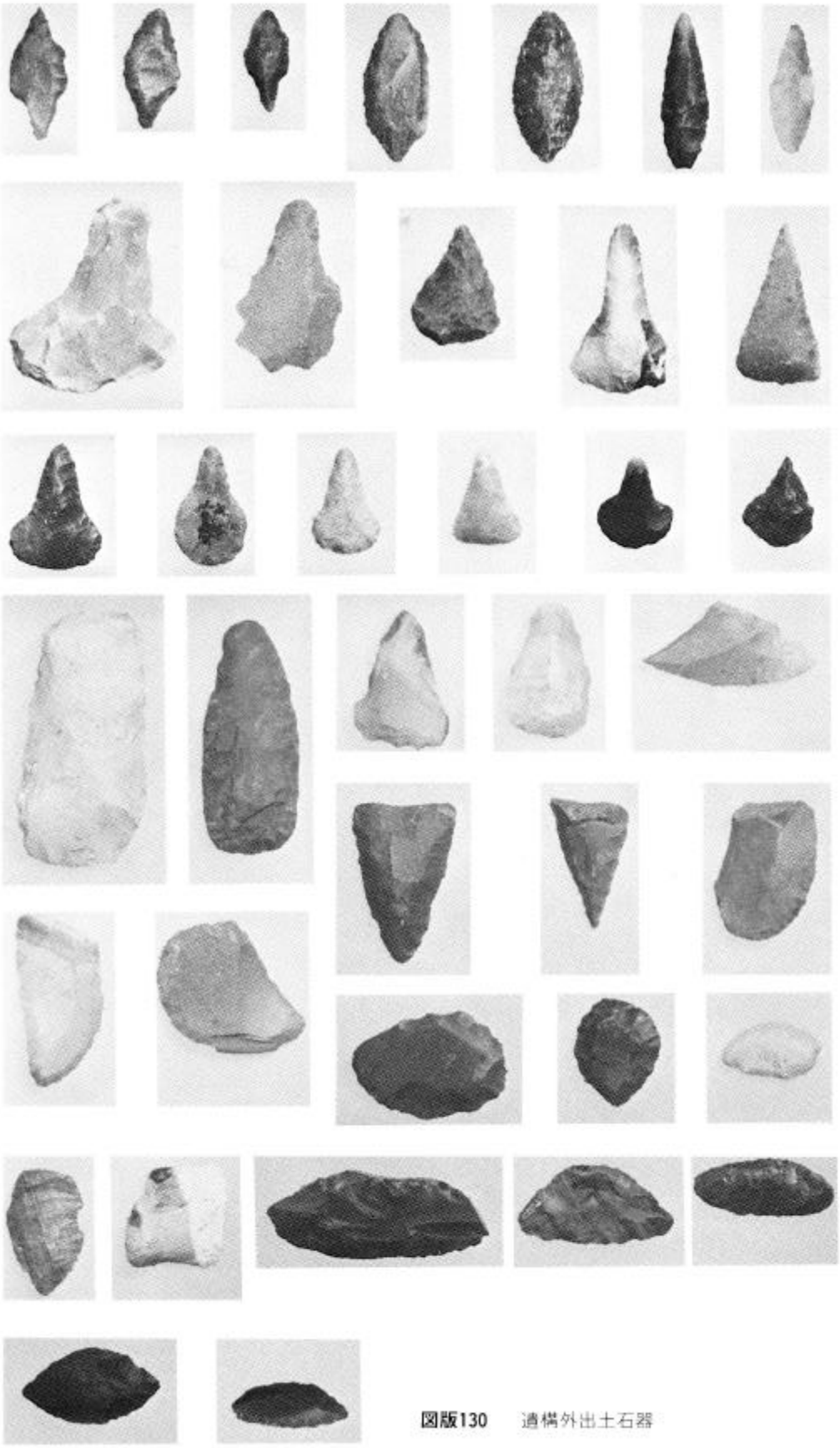
図版127　遺構外出土石器



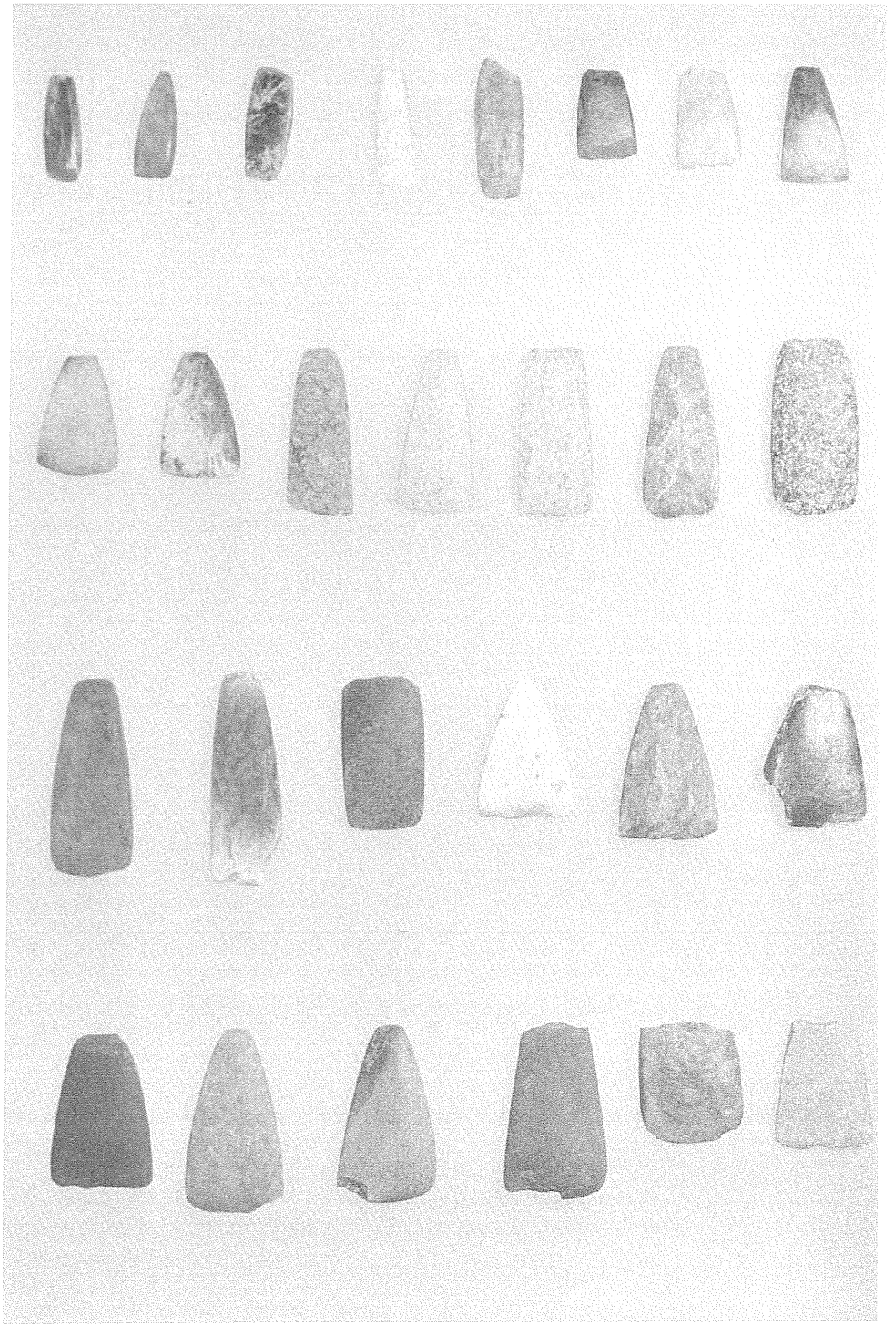
図版128　遺構外出土石器



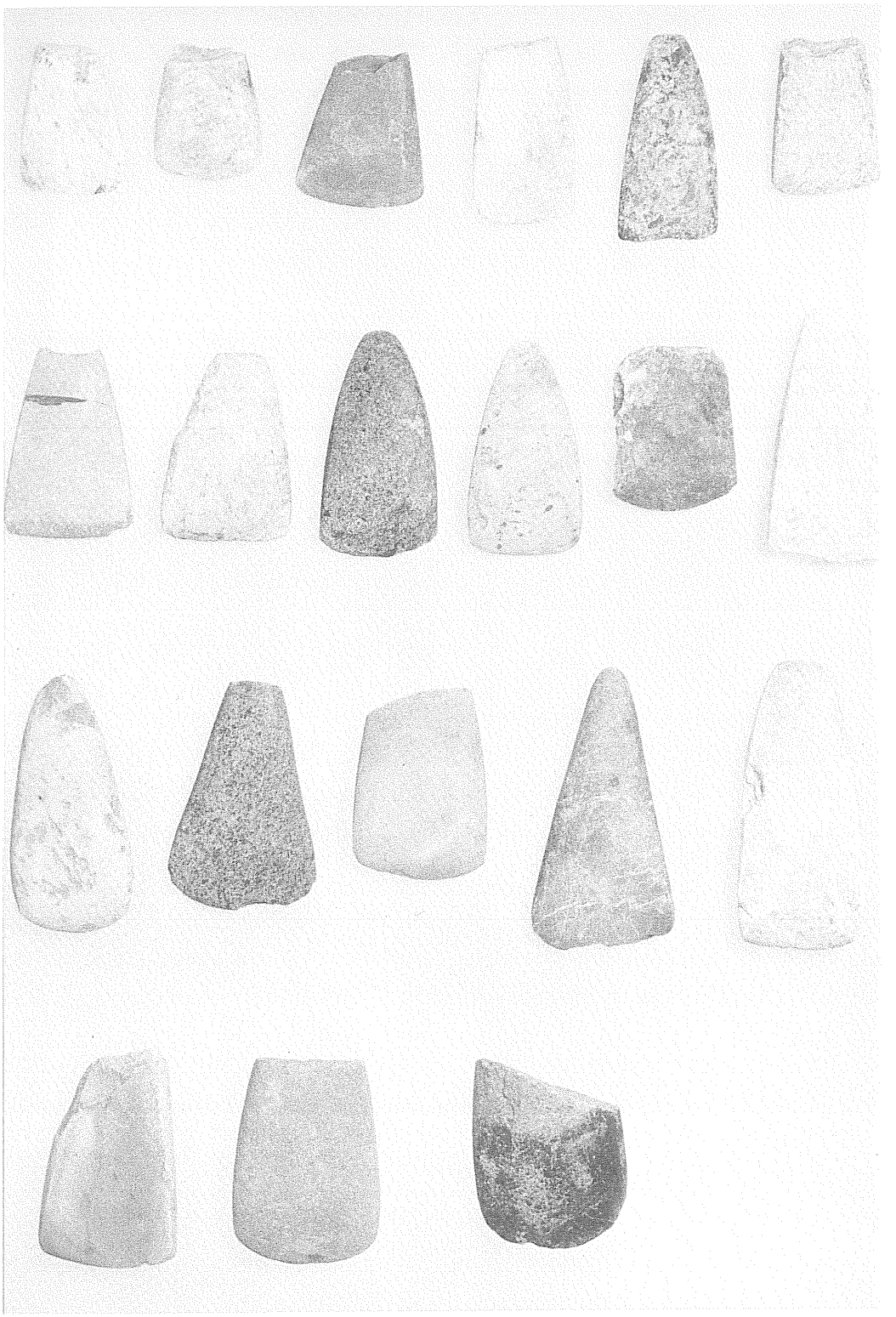
図版129　遺構外出土石器



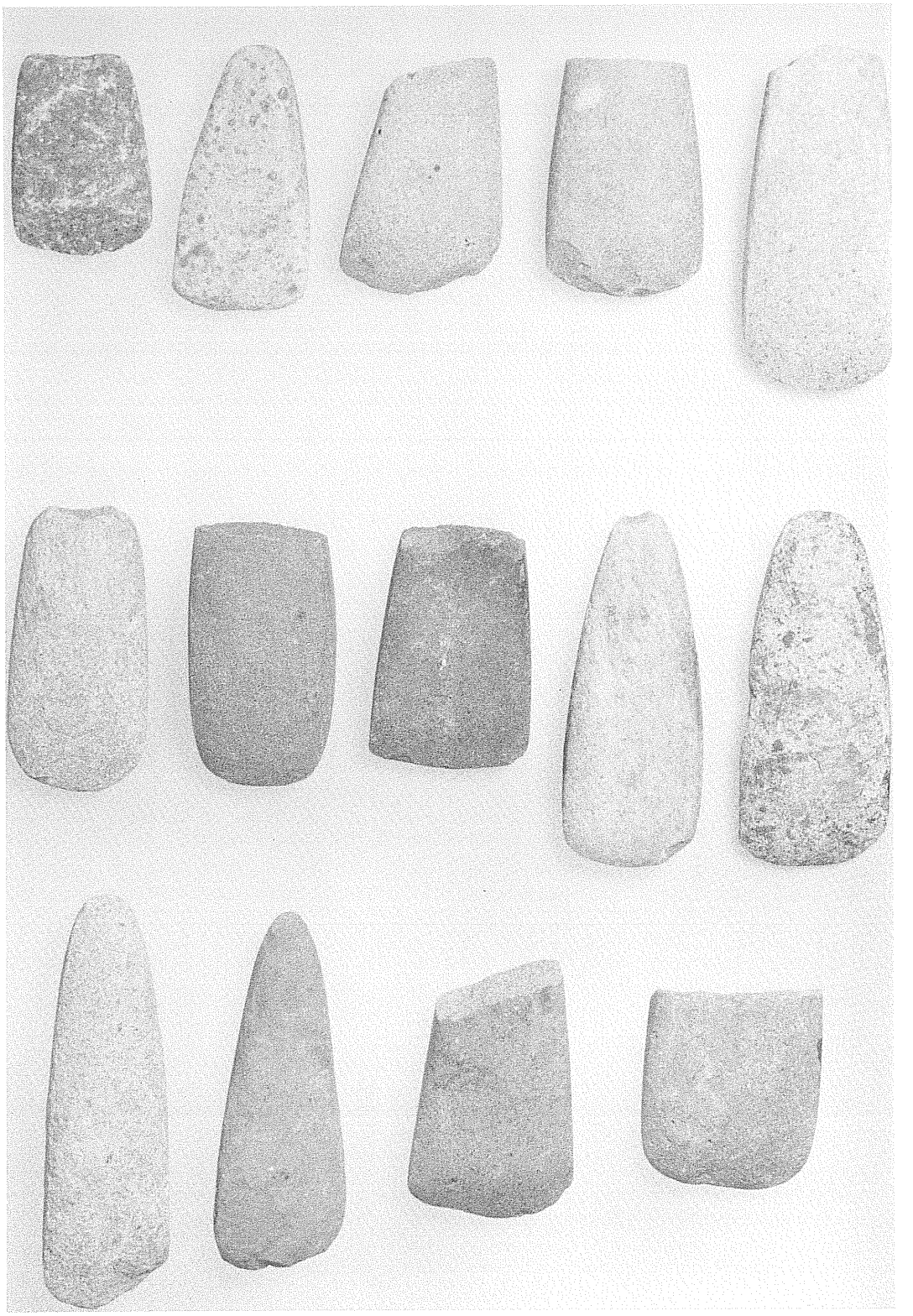
図版130　遺構外出土石器



図版131　遺構外出土石器



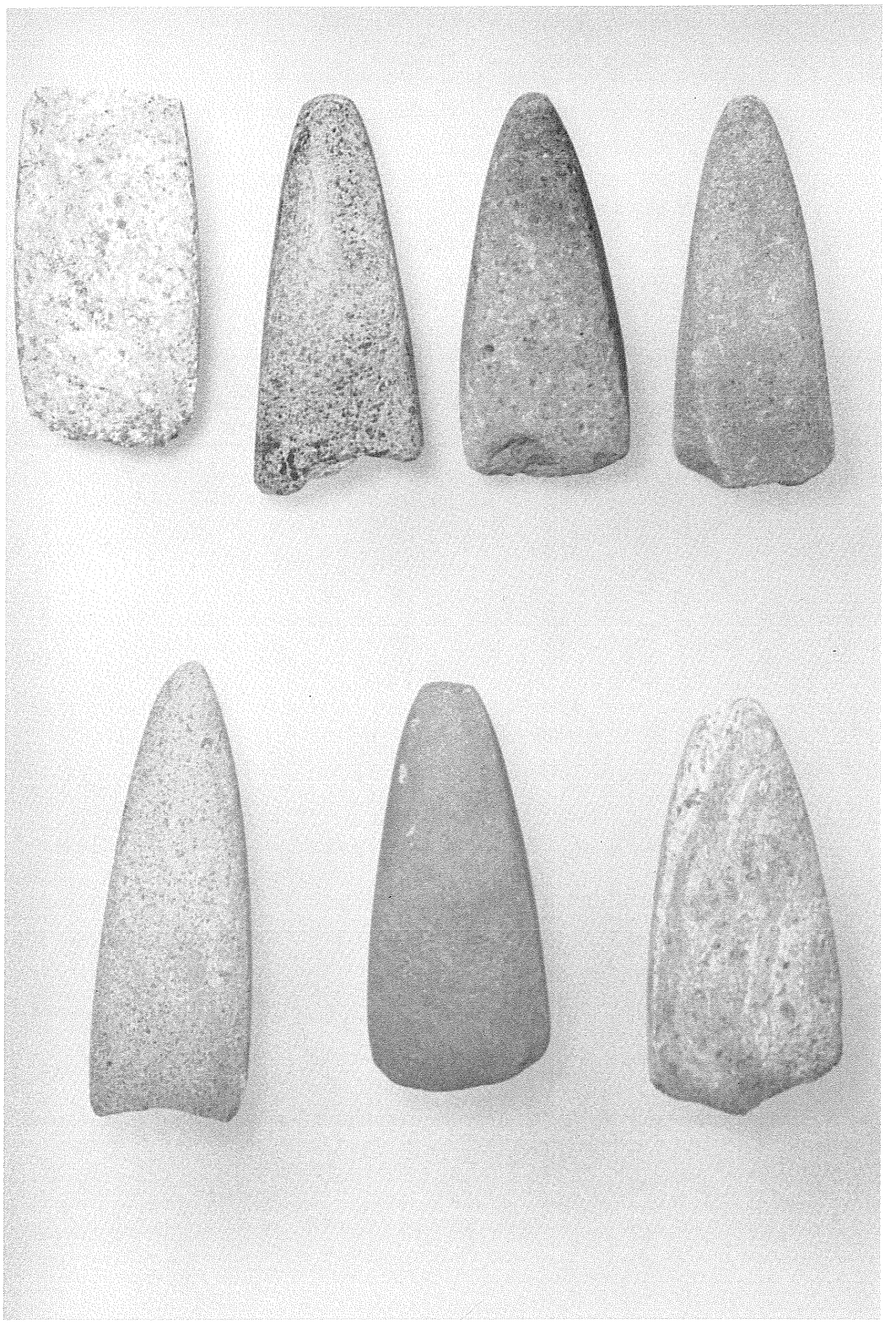
図版132　遺構外出土石器



図版133　遺構外出土石器

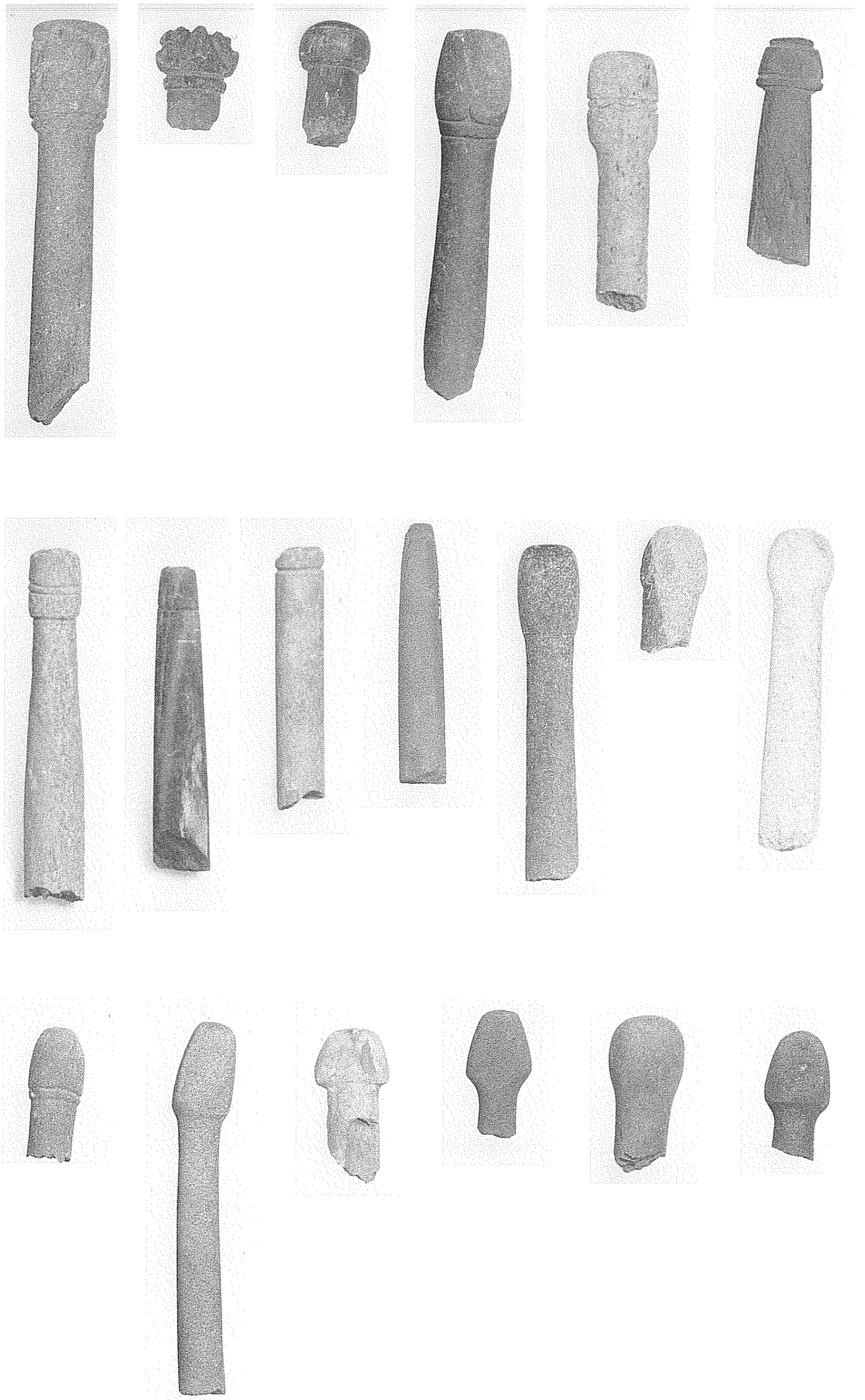
図版134　遺構外出土石器

図版135　遺構外出土石器

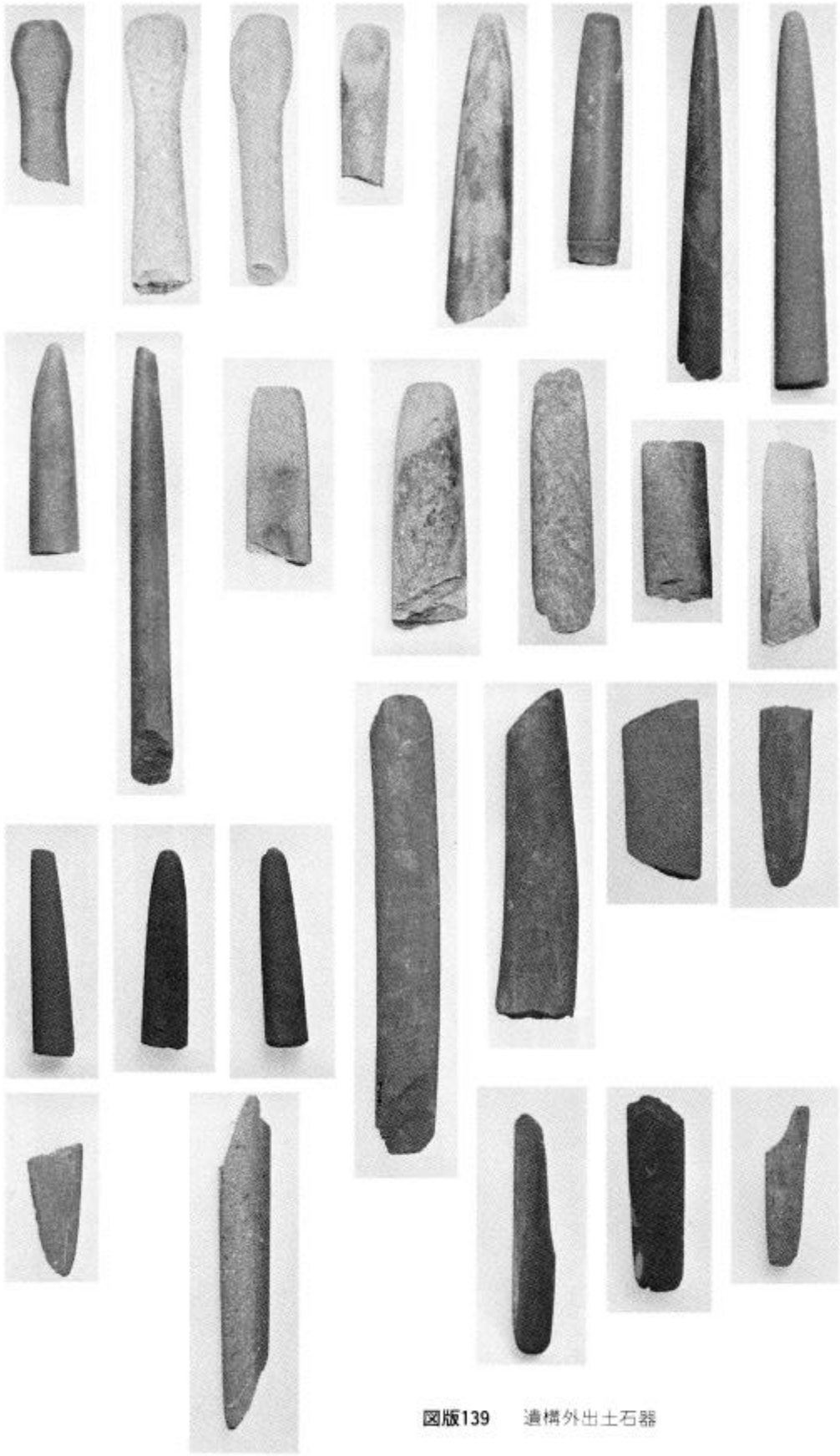


図版136　遺構外出土石器

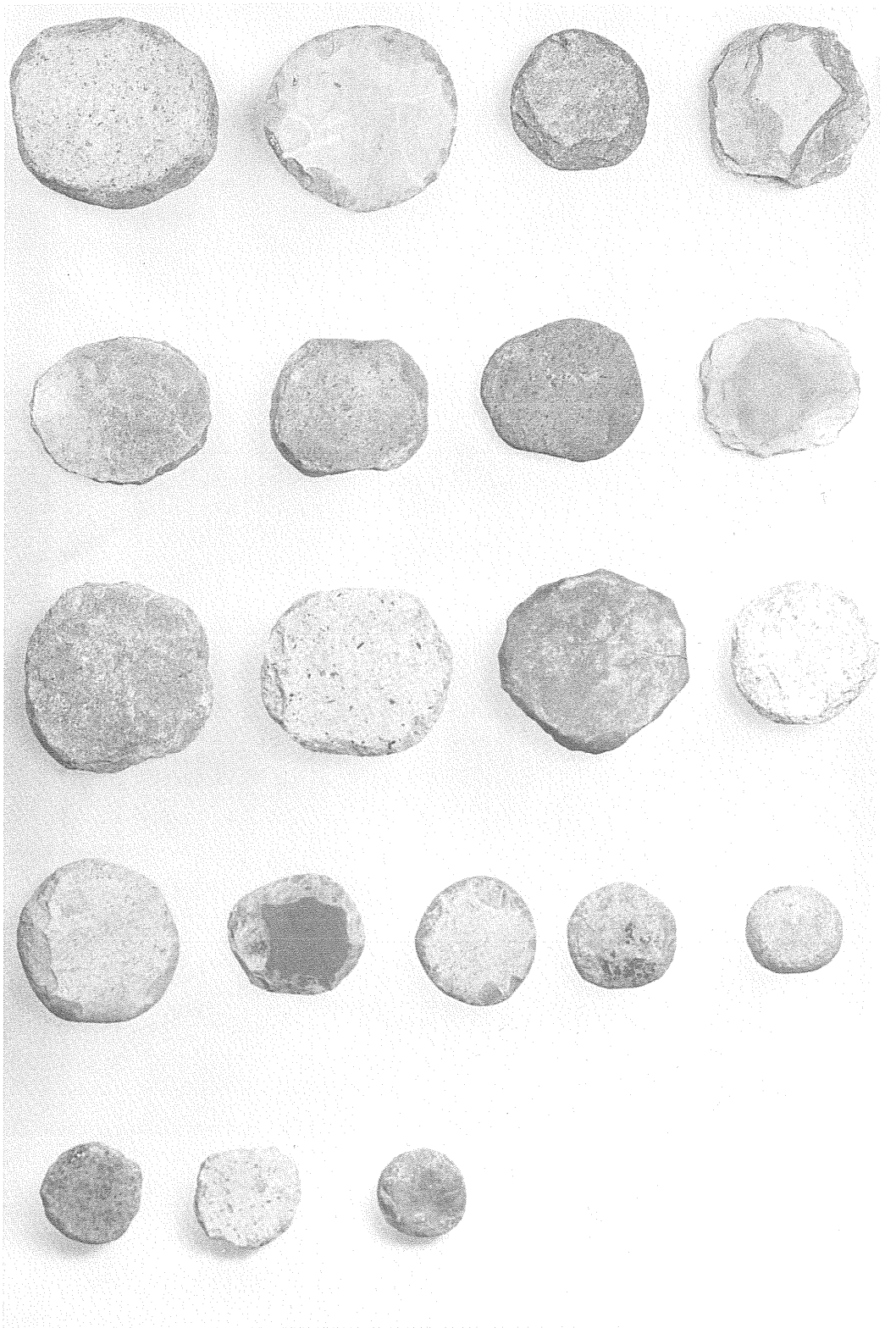
図版137　遺構外出土石器



図版138　遺構外出土石器

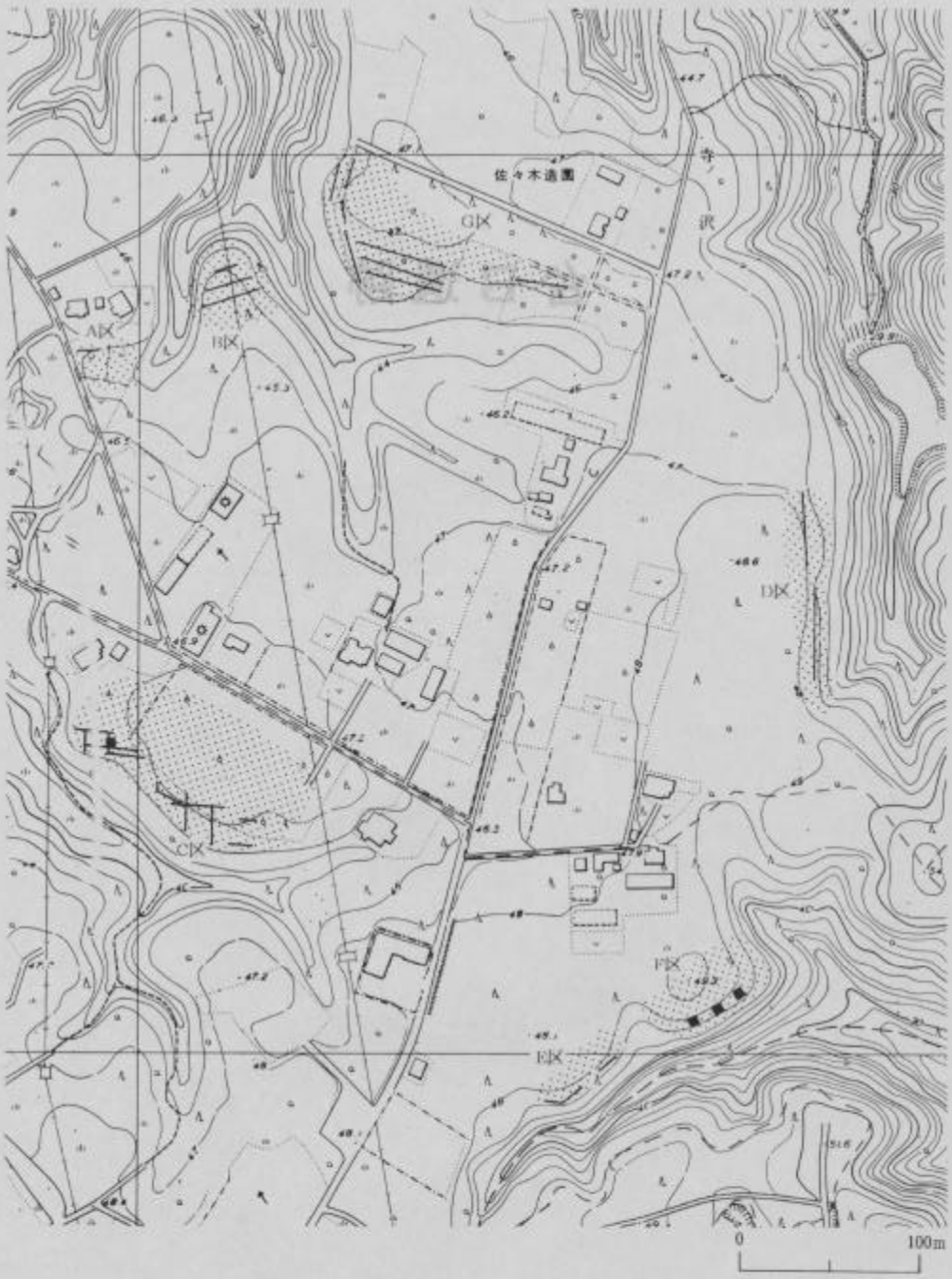


図版139　遺構外出土石器



図版140　遺構外出土石器

台B遺跡



第１図　遺跡周辺の地形

遺跡の概観

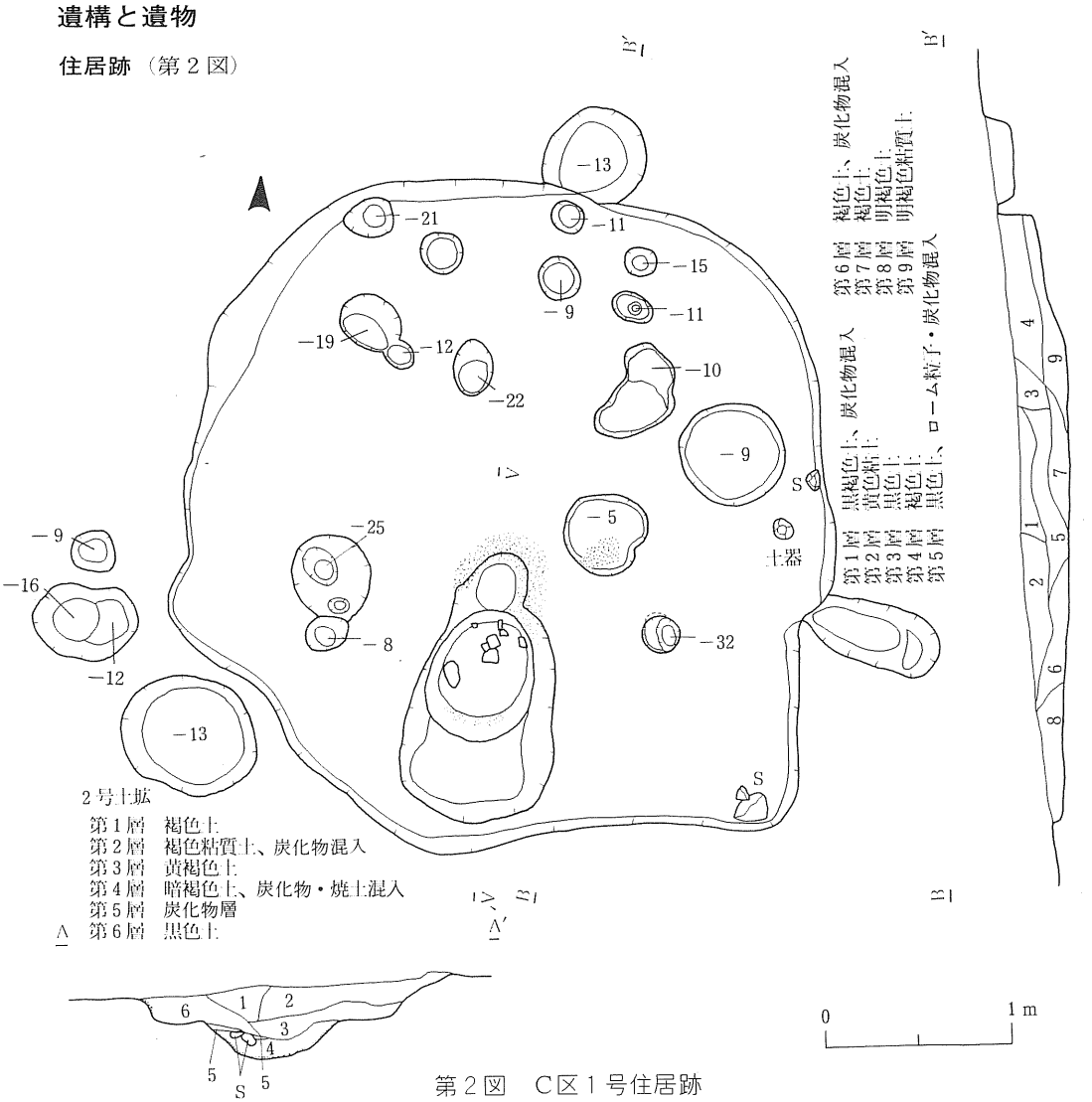
台Ｂ遺跡は国道13号線御所野三叉路から大曲方向に約600ｍ南下すると上北手字寺村に通る道路が北に走る。遺跡はその道路の南側に張り出した小舌状台地にある。

調査経過

台Ｂ遺跡も含めた中北手地区は、これまで分布調査は実施していたが範囲確認調査は行われていなかった。今次調査では確認調査を兼ねて、Ａ区からＧ区までトレンチによる調査を行い、遺構の確認と共に拡張することにした。その結果Ａ・Ｂ・Ｅ～Ｇ区では少量の遺物の出土が認められたが遺構の検出はなかった。Ｄ区は全く遺物は認められなかった。Ｃ区は東西南北にトレンチを多数設定し調査した結果西側の狭小な台地から縄文時代中期末葉大木10式期の竪穴住居跡１軒、土坑５基が検出された。このＣ区が台Ｂ遺跡である。

遺構と遺物

住居跡（第２図）



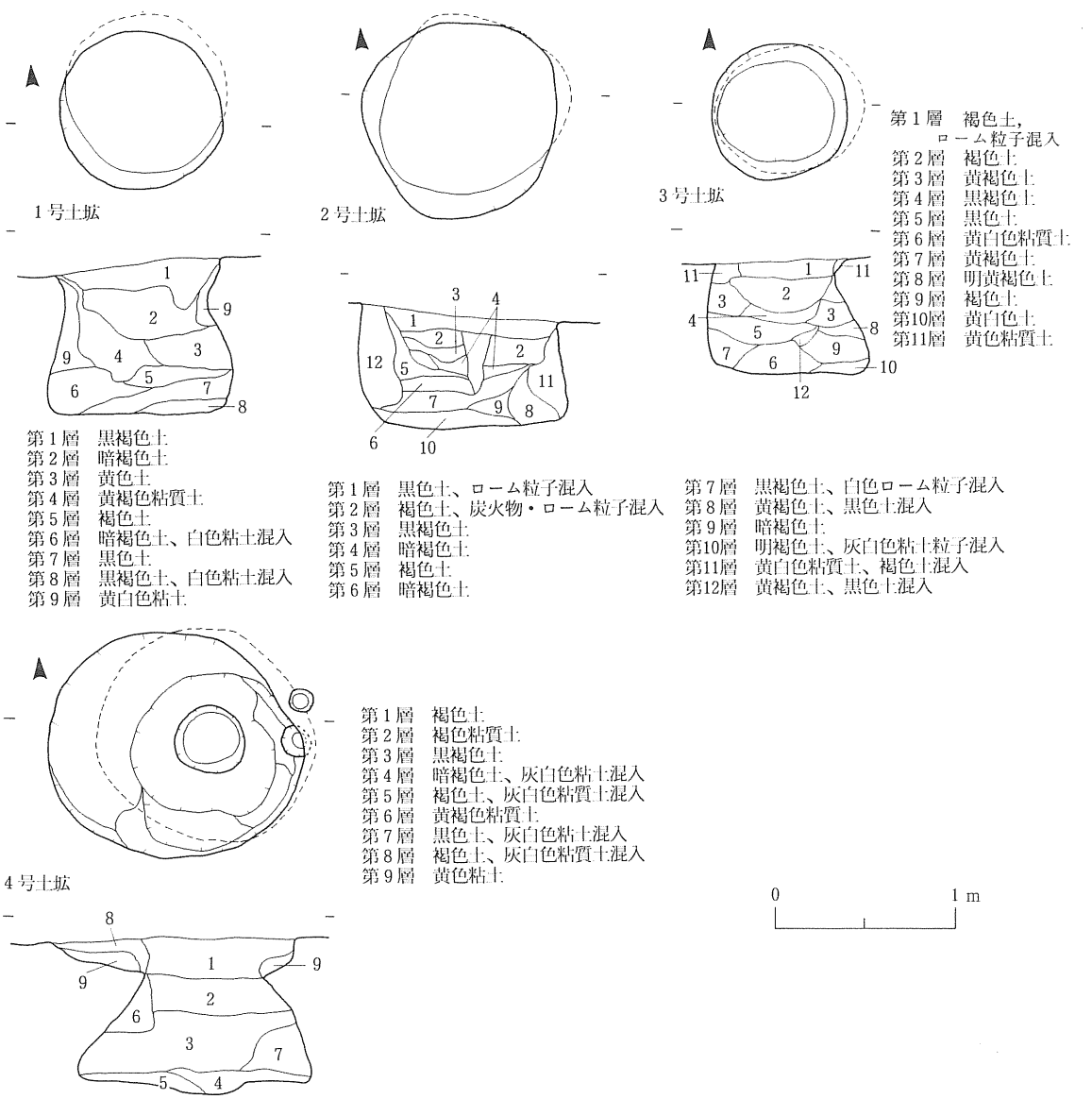
第２図　Ｃ区１号住居跡

C区範囲確認トレンチで検出された。

プランは長軸3.6m 短軸3.4mの楕円形を呈する。確認面からの深さは12cmで壁はほぼ垂直に立ち上がる。南側にゆるく傾斜しており南壁は非常に浅い。ピットは13個検出されており、主柱穴は対角線に並ぶ深さ10cm以上の4本である。炉は南側に位置しており、土器埋設部、掘り込み部からなる。複式炉である。土器埋設部の埋設土器は抜き取られて無い。周辺は火熱を受け赤変している。床面は平坦であるが軟弱である。

出土遺物（第5図1～3）

石器：1は磨製石斧であるが刃部は欠損している。2は削器・3は掻器と思われる。



第3図　土　　坑

土 坑 一 覧 表

番　号	規模（cm）			平 面 形	断 面 形	出土遺物	備　考
	長　軸	短　軸	深　さ				
1号土坑	90		84	円　形	袋　状		第3図
2号土坑	104		62	円　形	ビーカー状		〃
3号土坑	74		62	円　形	袋　状		〃
4号土坑	88		88	円　形	フラスコ状		〃
5号土坑	70			円　形			第2図

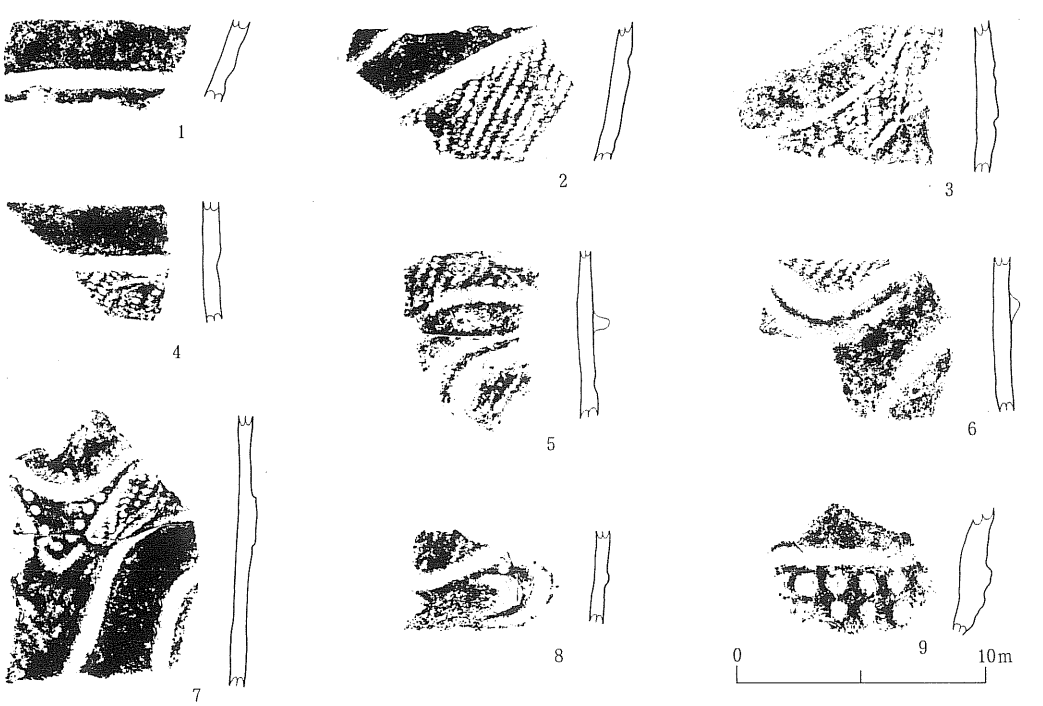
遺構外出土遺物

土器（第4図）

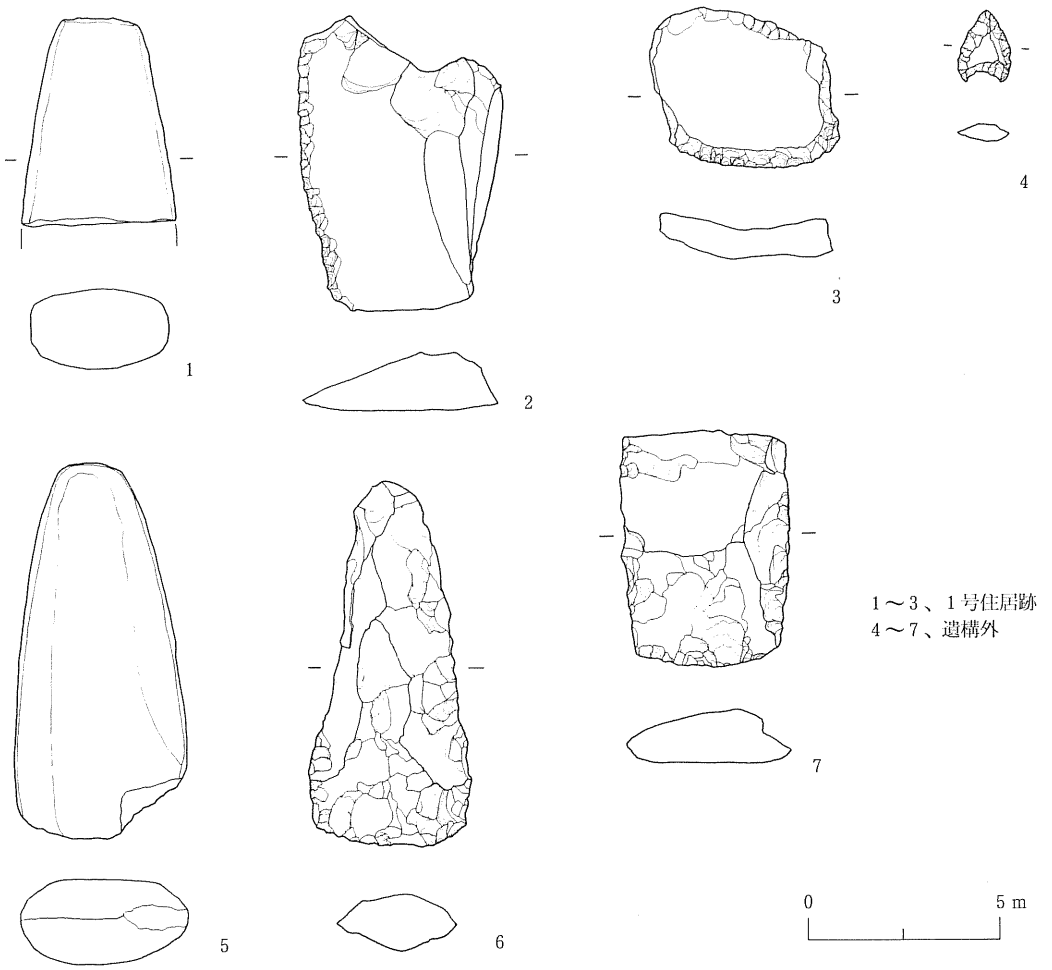
1～6・8は沈線区画の磨消し帯によって曲線的な文様を施している。7・9は沈線区画の磨消し帯で文様を施し、区画内に円形刺突文を施している。以上の土器は大木10式期に位置づけられるものである。

石器（第5図4～7）

4は小形の無茎石鏃で頁岩製である。5は磨製石斧、6・7は石ベラ状石器である。刃部は両面剥離である。



第4図　遺構外出土土器



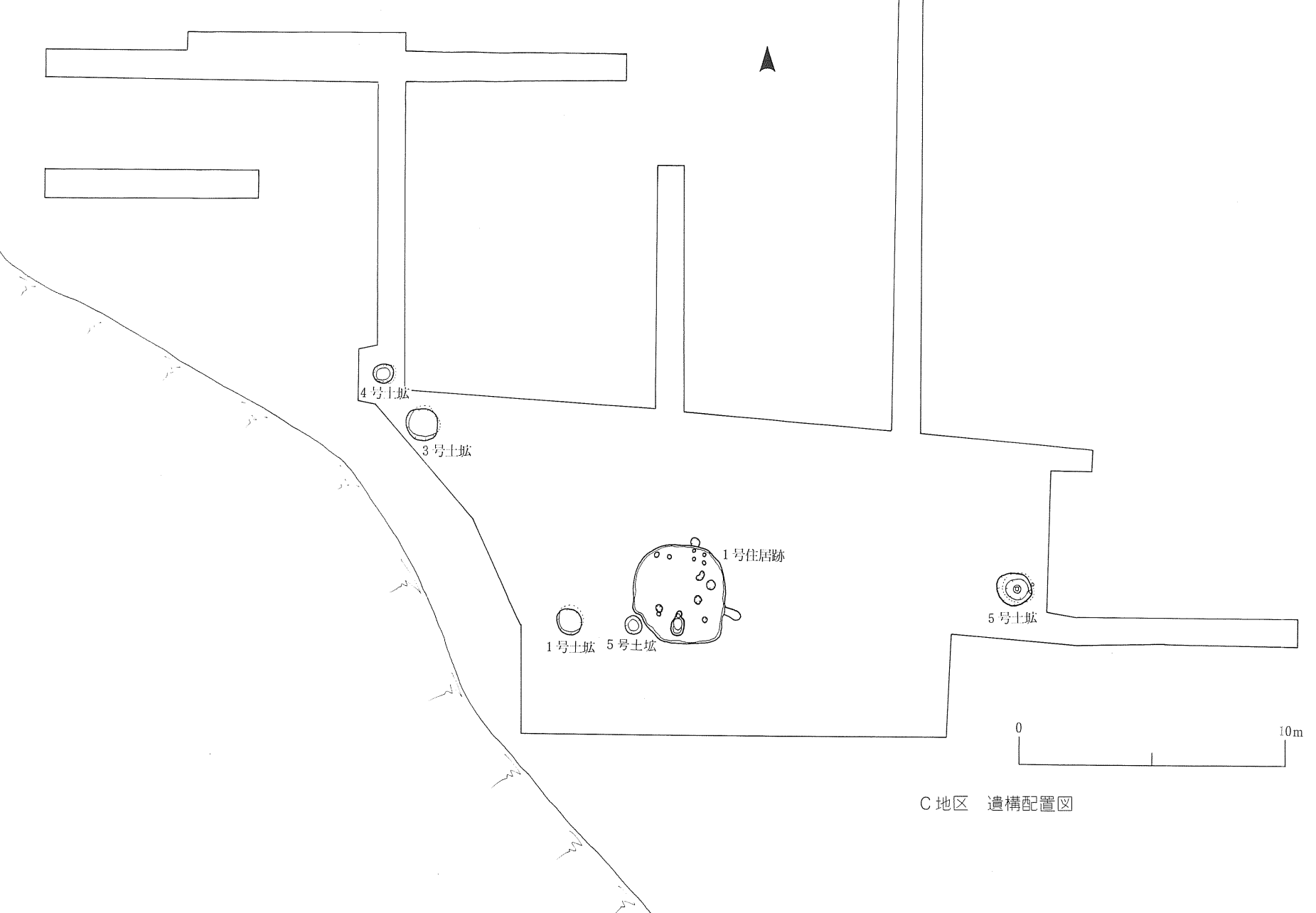
第５図　遺構内・外出土石器

まとめ

中北手地区はＡ区からＧ区までトレンチとグリッドを併用しての範囲確認調査を兼ねながらの調査となった。結果的に遺構が検出されたのは台Ｂ遺跡としたＣ区だけである。台Ｂ遺跡では遺物、遺構の良好な広がりはみられず、結局竪穴住居跡１軒と数基の土坑だけであった。

住居は複式炉をもつが埋設土器の抜き取り痕跡があり、埋設土器はない。床面から出土した土器から縄文時代中期末葉大木10式期のものであり、台Ｂ遺跡は縄文時代中期末葉の遺跡である。

本遺跡の南側には縄文時代中期末葉の台Ａ遺跡、中期末葉、晩期の地方遺跡がある。台Ｂ遺跡についても、これらの遺跡との関連が考えられる。



C地区　遺構配置図

参　考　文　献

この参考文献は280ページに入るものです。

秋田市教育委員会：「小阿地下堤遺跡・坂上遺跡発掘調査報告書」1976年３月

秋田県教育委員会：「湯出野遺跡発掘調査概報」秋田県文化財調査報告書第53集」1978年３月

葛西励　　：「十腰内工式土器の編年的細分」北奥古代文化第11号　1979年11月

秋田市産業部、秋田市教育委員会：「秋田市上新城中学校遺跡」1980年３月

成田滋彦：「亀ヶ岡文化圏の葬制の諸問題(1)、(2)　1979、1980年３月

野口義磨編　　：「縄文土器大成一後期」1981年　講談社

秋田県教育委員会：「藤株遺跡発掘調査報告書」秋田県文化財調査報告書第85集　1981年３月

秋田県教育委員会：「平鹿遺跡発掘調査報告書」秋田県文化財調査報告書第101集　1983年3月

秋田市教育委員会：「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書、下堤Ｅ遺跡、下堤Ｆ遺跡、坂ノ上F 遺跡、埋崎Ａ遺跡、湯ノ沢Ｄ遺跡、深田沢遺跡」1985年３月

秋田市教育委員会：「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書、地蔵田Ｂ遺跡、台Ａ遺跡、湯ノ沢Ｉ遺跡、湯ノ沢Ｆ遺跡」1986年３月

本田嘉之　　：「亀ヶ岡文化期における葬制」法政考古学第11集　1986年３月

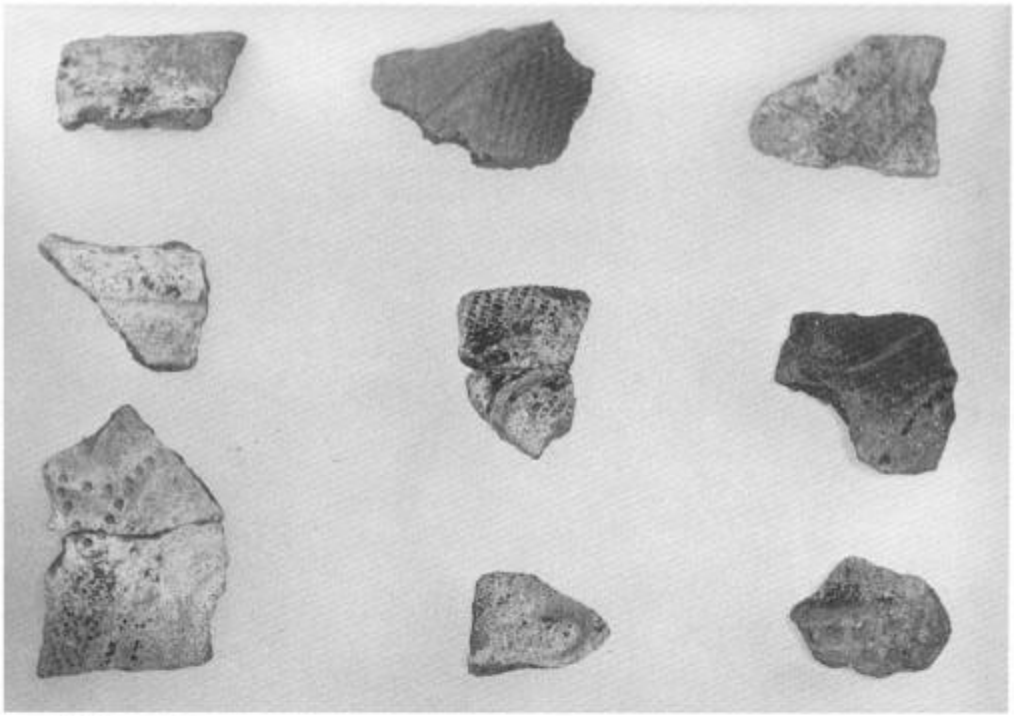
高橋龍三郎　　：「亀ヶ岡式土器の編年」シンポジウム亀ヶ岡文化レジュメより　1986年３月

G区　トレンチ状況
図版1

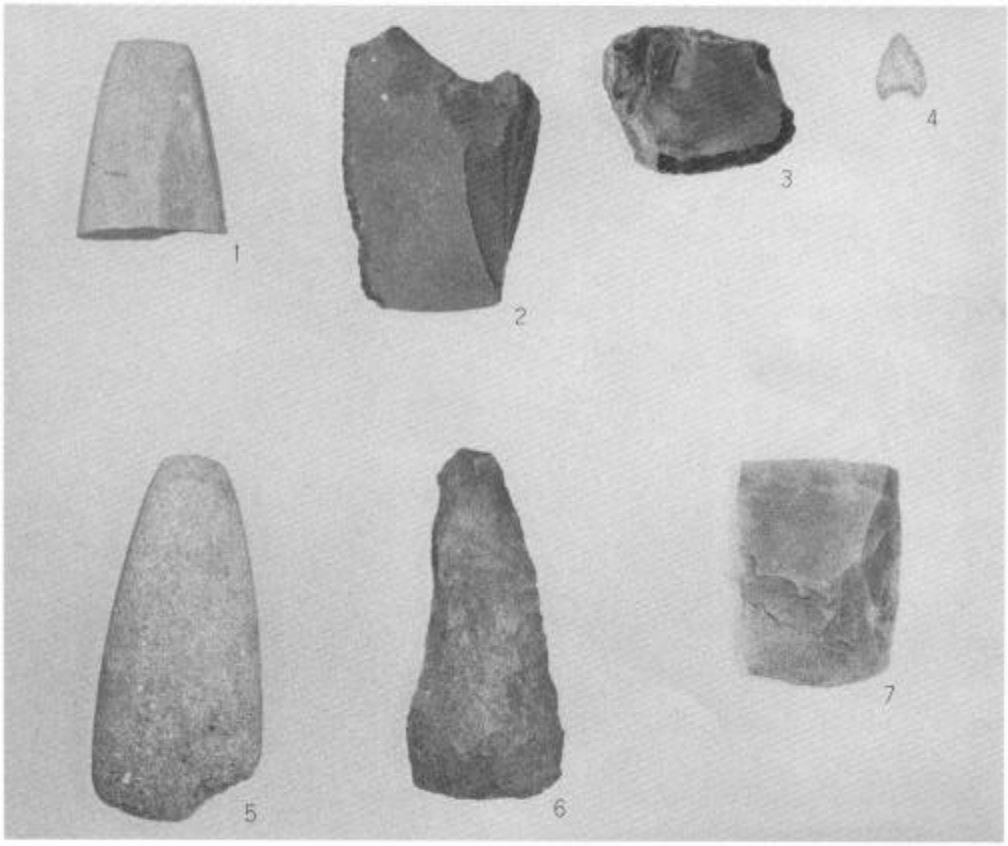
C区　遺構検出状況

C区　住居跡

図版 2



遺構外出土土器



遺構内・外出土石器　　1～3 住居跡
図版1　　4～7 遺構外

正　誤　表

ページ	行	誤	正
7	8	〈内容〉　土〇墓	土坑墓
〃	21	〈所在地〉上北手御所野字野畑	上北手御所野字野形
48		第33図　5号掘立柱建物跡・1・2	第33図　5号掘立柱建物跡
131		第82図　遺構内出土器	第82図　遺構内出土土器
133		第84図　〃	第84図　〃
135		第86図　遺構内土石製品	第86図　遺構内出土石製品
137		第88図　〃	第88図　〃
139		第90図　〃	第90図　〃
141		第92図　〃	第92図　〃
143		第94図　〃	第94図　〃
229	8	土製品	土製品
〃	15	遺物包含物	遺物包含層
277	11	さらに坑墓	さらに土坑墓

秋田市
秋田新都市開発整備事業関係
埋蔵文化財発掘調査報告書
昭和62年3月

発　行　　秋田市教育委員会

印　刷　　株式会社三戸印刷所